

## 関西健康・医療創生会議の今後の取組について

平成31年3月22日  
イノベーション推進担当

### 1 現状

「関西健康・医療創生会議」（以後、「創生会議」）では、「健康・医療データの収集・連携・利活用の推進」、「健康・医療データサイエンス人材育成の促進」を重点取組として、その実現方策の検討を行ってきた。

このたび、創生会議から中間提言が取りまとめられたことから、今後、提言内容の具体化を図っていく。

#### 【中間提言の内容】：別紙参照

- 1 関西健康・医療情報連携基盤の利活用を推進する組織の具体化の検討
- 2 健康・医療データを有効に活用できるデータサイエンス人材を早急に育成する体制の検討
- 3 大阪・関西万博の開催に向け、関西が一体となって国等へ意見発信

### 2 今後の取組

#### (1) 関西健康・医療情報連携基盤の構築・利活用（事務局：関西広域連合（イノベーション推進担当））

- ① 提言内容の具体化検討（ワーキンググループ「情報連携基盤グループ」の設置）
  - ・ヘルスケアデータの本格的な実用化（匿名二次利用、実名利用）を促進するため、次世代医療基盤法による認定事業者（千年カルテプロジェクトの主体）を支援するための組織設立の具体化等を検討
- ② 千年カルテ情報の幅広い活用に向けた取組の推進
  - ・公立病院の認定事業者への医療情報提供を促進し、千年カルテ情報の幅広い活用を図るため、行政等関係機関向けの説明会等を実施
  - ※ 平成31年3月8日、兵庫県立病院に対して実施

#### (2) 関西健康・医療データサイエンス人材育成の推進（事務局：関西広域連合（イノベーション推進担当））

- ① 提言内容の具体化検討（ワーキンググループ「人材育成グループ」の設置）
  - ・研究者、技術者、行政関係者向けなど、各層にわたるヘルスケアデータサイエンス分野の人材育成プログラムを検討
  - ・データサイエンス人材を育成する新たな連携大学院を含む大学連携の具体化に向け、関西広域での連携を視野に検討

#### (3) 大阪・関西万博に向けた対応（事務局：関西経済連合会）

- ① 関西としての意見を取りまとめ、国等へ提言（「(仮称)大阪・関西万博検討部会」の設置）
  - ・大阪・関西万博推進に向けた検討
  - ・国際博覧会協会への提案・提言



## 関西広域での健康・医療データの利活用支援策について (中間提言)

- ◇関西健康・医療創生会議では、以下の項目を重点事項として、その実現方策の検討を行ってきたが、このたび、中間提言を取り纏め、関西広域の自治体、産業界、学界に協力を要請する。
- ◇なお、今後、提言内容の具体化にあたっては、別途設置するワーキンググループ及び部会において検討を行い、必要な時期に検討結果を取り纏めることとする。

### 【提言項目】

#### (1) 関西健康・医療情報連携基盤の構築・利活用

関西における健康・医療に関する先制医療の実現や産業競争力の強化等を図るため、関西広域の自治体及び医療機関、産業界が連携し、健康・医療をはじめとする各種データの収集・交換が可能な情報連携基盤を構築し、利活用を促進することが重要である。

このため、「千年カルテ」プロジェクトをはじめとする次世代医療基盤法の認定匿名加工医療情報作成事業者（以下「認定事業者」）と連携し、情報連携基盤の利活用を推進する組織の具体化を検討すべきである。

【6月頃検討とりまとめ】

なお、千年カルテに参加する公立病院を所管する自治体においては、認定事業者への医療情報の円滑な提供にご協力いただきたい。

#### (2) 健康・医療データサイエンス人材育成の推進

健康・医療データを有効に活用できるデータサイエンス人材は産学官の様々な分野で必要であるが、いずれも不足しているため、大学等が連携し、早急に育成する体制を検討すべきである。

【6月頃検討とりまとめ】

#### (3) 大阪・関西万博への対応

【7月～8月頃とりまとめ】

大阪・関西万博は、関西が強みを有する健康・医療分野における先進的な取組を世界に向けて発信する絶好の機会であり、開催に向けて、関西が一体となって推進していく必要がある。

このため、健康医療分野における産学官の連携組織である関西健康・医療創生会議において検討部会を設け、意見発信の取り纏めを行い、国などへ提言を行う。